

## 学会だより

### 2001年シンポジウム課題の公募

来年九州大学で開催予定の日本育種学会秋季大会のシンポジウムの課題を公募いたします。特に学会創立五十周年にふさわしい課題を募集いたしますので多数の応募をお待ちしております。シンポジウムのプロシーディングは事前に印刷し、学会当日「育種学最近の進歩」として販売します。そのため、シンポジウム課題は2000年9月のシンポジウム委員会で決定し、2001年7月頃までに各話題提供者から原稿をいただく事になります。

#### 要領

1. シンポジウムは全体で3課題程度とし、課題を公募する。
2. シンポジウムの形式は従来に準ずる。
3. 応募者は下記の事項について記載の上、シンポジウム委員長宛応募する。事項はA4判用紙に横書きで簡条書きにすること。
  - 1) 課題責任者氏名、連絡先、電話およびファックス番号、e-mailアドレス
  - 2) シンポジウム課題名
  - 3) 課題設定のねらい、内容、範囲などに関する簡潔な記載
  - 4) 予定話題提供者氏名、所属、予定話題名(話題提供者は会員に限らなくてよい)
  - 5) 予定時間
  - 6) 予想参加者人数
  - 7) シンポジウム開催にあたって学会本部および開催地の実行委員会に特に希望する事項(以上すべての項目について明確な提案のできない場合は、2)3)4)についての情報提供も歓迎します。)
4. 応募宛先  
〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 岐阜大学農学部  
古田喜彦(シンポジウム委員長)  
e-mail: furutay@cc.gifu-u.ac.jp
5. 締切 2000年8月31日

### 常任幹事会記録

日時：平成12年2月19日 13:00 - 17:00

場所：東京大学大学院農学生命科学研究科会議室

出席者：会長 平井篤志、副会長 武田和義、二宮正士、野村和成、堤伸浩、大川安信、松田長生、西尾剛、小巻

克巳、大澤良、辻本壽。

各常任幹事の経過報告後、次期役員、決算案(11年度)と予算案(12年度)、学会賞、50周年記念事業、広告代理店との契約などについて検討をおこなった。

日時：平成12年4月22日 13:00 - 17:00

場所：東京大学大学院農学生命科学研究科会議室

出席者：会長 武田和義、副会長 足立泰二、二宮正士、平田豊、佐藤和広、平野博之、松田長生、西尾剛、大澤良、木庭卓人、辻本壽、中村郁郎。

各常任幹事の経過報告後、学会賞、50周年記念事業、中西印刷への委託業務などについて検討をおこなった。

### 幹事会

日時：平成12年4月1日 14:00 ~ 18:00

場所：筑波大学 第2学群 C棟

出席者：会長 平井篤志、副会長 武田和義、佐野芳雄、島本義也、三上哲夫、新関稔、原田竹雄、森宏一、渡辺正夫、高畑義人、笹原健夫、西尾剛、大澤良、生井兵治、藤村達人、丸橋亘、二宮正士、大川安信、小巻克巳、門脇光一、町井博明、木庭卓人、原田久也、長戸康郎、平野博之、高野哲夫、堤伸浩、藤垣順三、平田豊、野村和成、辻本壽、荻原保成、笹隈哲夫、福山利範、北野英巳、大田正次、島田多喜子、古田喜彦、神山康夫、長谷川博、福井希一、足立泰二、樽本勲、山口裕文、米澤勝衛、佐々木義之、谷坂隆俊、上島脩志、加藤謙司、安室喜正、瀬古秀文、一井真比古、山口聰、佐藤光、国分禎二、岡正明、松田長生、矢野昌裕、山本義雄、佐藤和広

### 報告

各常任幹事から経過報告がなされた。

- (1) 会員数は3月1日現在、名誉会員10名、個人会員1829名、その他団体会員、賛助会員を合わせた総数は2211名である。
- (2) 「Breeding Science」誌第49巻には原著39報、資料4報を掲載し、総計299ページであった。「育種学研究」誌第1巻には、原著8報、総説2報、ノート3報を掲載し、特集、通信などを含め総計267ページであった。
- (3) 平成11年度秋季大会(岡山)での講演総数は322題(うち取り消し2)であった。平成12年度春季大会(筑波)での講演総数は329題(うち取り消し2)の予定である。

### 議事

- (1) 平成12、13年度学会役員について。  
会長指名幹事9名、常任幹事12名が承認された。  
「Breeding Science」誌および「育種学研究」誌の編集長お

よび編集委員の承認を行った。会計監事、日本農学会評議員、同運営委員の推薦を行った(承認された役員等は別項参照)。

- (2) 平成12年度の学会賞等選考委員として、島本義也、西尾剛、生井兵治、福井希一、安室喜正、吉村淳の6氏が選出された。内規に従い、委員長は副会長の足立泰二氏となった。
- (3) 平成12年度の学シンポジウム委員として、三上哲夫、長戸康郎、古田喜彦、谷坂隆俊、佐藤光の5氏が選出された。委員の互選により、委員長は古田喜彦氏となった。
- (4) 総会議事事項として平成11年度決算報告、平成12年度予算案が検討された。
- (5) 会長より、山縣弘忠、蓬原雄三、菊池文雄の3氏を名誉会員として推薦することを総会に発議するとの提案があり、了承された。
- (6) 日本育種学会創立50周年記念事業として、記念式典の開催、記念誌の発行、育種学辞典の刊行、育種フェアの開催を行うことが決定された。
- (7) 育種学研究誌およびその別冊に掲載される広告を扱う代理店との間に契約書を締結すること、平成12年度は代理店を誠廣社とすることが承認された。
- (8) 平成13年度春季大会は平成13年4月1、2日(土、日)に日本大学で開催されることになった。

### 総会議事内容

- (1) 常任幹事経過報告
- (2) 平成11年度決算報告
- (3) 平成12年度予算案の審議
- (4) 山縣弘忠氏、蓬原雄三氏、菊池文雄氏の名誉会員への推戴
- (5) 50周年記念事業
- (6) 会計監事2名
- 以上はいずれも異議なく承認された。

### 平成11年度日本育種学会賞授賞式

樋江井祐弘氏、小鞠敏彦氏、石田祐二氏、斉藤秀章氏：  
「単子葉植物形質転換法の確立」  
日中イネ共同研究グループ：日中共同研究「遺伝資源利用による水稻の耐冷・耐病・多収品種の育成」

### 平成12,13年度日本育種学会役員等

会 長 武田和義(岡山大学)  
副会長 足立泰二(大阪府立大学)

#### 選出幹事

北海道：沢田壮兵、島本義也、三上哲夫  
東北：新関稔、西尾剛、森宏一、渡辺正夫  
関東：大澤良、木庭卓人、佐々木卓治、笹隈哲夫、辻本壽、長戸康郎、生井兵治、二宮正士、野村和成、

平田豊、平野博之、福山利範、藤垣順三、丸橋巨、三位正洋

中部：大田正次、北野英巳、神山康夫、佐藤洋一郎、島田多喜子、古田喜彦

近畿：上島脩志、長谷川博、谷坂隆俊、福井希一

中国・四国：一井眞比古、瀬古秀文、安室喜正、山口聰  
九州・沖縄：岡本正弘、佐藤光、吉田智彦、吉村淳

#### 会長指名幹事

佐藤和広、矢野昌裕、岡正明、松田長生、中村郁郎、江川宜伸、井出雄二、町井博明、山本義雄

#### 常任幹事

庶務：二宮正士、平田豊、平野博之、佐藤和広  
会計：大澤良、木庭卓人  
編集：松田長生、矢野昌裕、西尾剛、岡正明  
集会：辻本壽、中村郁郎

#### 編集委員等

##### 「Breeding Science」誌

編集委員長：中島卓介

編集委員：原田久也、平井正志、梶浦一郎、金田忠吉、喜多村啓介、生井兵治、佐々木卓治、柴田道夫、島田多喜子、高岩文雄、鷓飼保雄、ダンカンウォン、島本義也、山田利昭、山元皓二、米沢勝衛、吉丸博志、吉村淳、服部一三

編集幹事：松田長生、矢野昌裕

##### 「育種学研究」誌

編集委員長：日向康吉

編集委員：亀谷寿昭、高畑義人、阿部利徳、鳥山欽哉、石川隆二、中村俊樹

編集幹事：西尾剛、岡正明

#### 会計監事 小巻克巳、稲津厚生

シンポジウム委員 古田喜彦(委員長)、三上哲夫、長戸康郎、谷坂隆俊、佐藤光

学会賞等選考委員 足立泰二(委員長)、西尾剛、島本義也、生井兵治、福井希一、安室喜正、吉村淳

日本農学会評議員 武田和義、足立泰二

日本農学会運営委員 平田豊

### 平成11年度決算および12年度予算

収入の部	平成11年度決算	平成12年度予算
1. 前年度繰越金	1,500,000	1,200,000
2. 会員会費	16,403,125	17,145,000
3. 賛助会員会費	1,300,000	1,320,000
4. 文部省助成	2,910,082	1,600,000
5. 別冊等頒布	4,245,000	4,345,000
6. 雑収入	3,532,924	2,160,000
7. 寄付金	2,800,000	0

8. 運営基金より繰入	0	0
合 計	32,691,131	27,770,000

支出の部	平成 11 年度決算	平成 12 年度予算
・事業費	23,459,581	14,120,000
1. 雑誌刊行費	16,340,380	8,420,000
2. 別冊印刷費	3,961,311	3,900,000
3. 大会費	1,200,000	1,200,000
4. シンポジウム費	1,550,000	200,000
5. 学会賞費	407,890	400,000
・運営費	6,018,692	10,130,000
1. 学会分担金など	234,981	250,000
2. 雑誌購入費	0	50,000
3. 学術会議関連費		250,000
4. 事務担当者手当	210,000	280,000
5. 事務費	5,573,711	4,800,000
1) 庶務	1,078,511	1,000,000
2) 編集	1,841,062	2,200,000
英文誌	1,403,544	1,500,000
和文誌	437,518	700,000
3) 集会	400,000	400,000
4) 会計	183,296	100,000
5) 付属印刷物等	2,070,842	1,100,000
6. 事務委託費等		4,500,000
・予備費	0	3,520,000
・次年度へ繰入金	1,200,000	0
・運営基金へ繰入	2,012,858	0
・学会賞基金繰入	0	0
・50周年基金繰入	0	0
合 計	32,691,131	27,770,000

基 金	平成 11 年度決算	平成 12 年度予定
運営基金	16,390,429	16,390,429
学会賞基金	3,250,000	3,250,000
50周年事業特別会計	2,000,000	2,000,000

### 日本育種学会 50 周年記念事業について

本会は、来る 2001 年に創立 50 周年を迎えます。これを記念して、次の 4 つの事業を行うことを計画しています。各事業ごとに専門委員会を設置し、事業の準備を進めています。事業および専門委員会のメンバーは次の通りです。

#### 50 周年記念式典等の行事

鳥山國士，武田元吉，原田久也，長戸康郎，二宮正士，野村和成

#### 50 周年記念誌の発行(「育種学研究」誌の特集号として)

日向康吉，亀谷寿昭，西尾剛，高畑義人，阿部利徳，鳥山欽哉，石川隆二，中村俊樹，岡正明

#### 育種学事典の刊行

鵜飼保雄，平田豊，三位正洋，藤垣順三，二宮正士，長峰司，堤伸浩，大澤良

#### 育種フェアの開催

足立泰二，安室喜正，高木胖，古田喜彦，西村繁夫，三上哲夫，高畑義人，小巻克巳

### 第 18 回日本植物細胞分子生物学会大会・シンポジウム(静岡)

主催：日本植物細胞分子生物学会

日時：2000 年 7 月 24 日(月)，25 日(火)

会場：静岡県立大学・小講堂・看護学部・学生ホール

(〒422-8526 静岡市谷田 52-1)

(1) 市民と高校生のための公開シンポジウム(学会本部企画)

7 月 23 日(日) 午後 1 時より(予定)

「遺伝子組み換え植物 科学的な視点から」 予定講演者：佐野浩(奈良先端大)，日野明寛(農水省・食総研)，田中良和(サントリー・基礎研)，他

(2) 大会期間中，下記の 3 つのシンポジウムが計画されております。

1. 植物バイオテクノロジーの産業化．オーガナイザー：高山真策(東海大)．話題提供者：中村郁郎(千葉大)，田中良和(サントリー)，藤村達人(筑波大)，全昶厚，古在豊樹，久保田智恵利(千葉大)，肥後健一(生物資源研)，横山峰幸(資生堂)

2. 植物発生の分子メカニズム 胚形成，成長，そして死．オーガナイザー：福田裕穂(東京大)，松岡信(名古屋大)．話題提供者：松岡信(名古屋大)，鎌田博(筑波大)，内宮博文(東京大)，和田正三(東京都立大)，相田光宏(奈良先端大)，伊藤正樹(東京大)，福田裕穂(東京大)

3. カルコン遺伝子ファミリーの分子生物学的同一性と生化学・化学的多様性．オーガナイザー：野口博司(静岡県立大)．話題提供者：三川漱(富山医薬大)，J. P. Noel (Salk Inst. Biol. Studies)，J. Schroeder (Univ. Freiburg)，堀之内未洸(東京大) 他

【参加費】一般会員 9000 円，非会員 11000 円，学生会員 4500 円 (市民公開シンポジウムは無料)．【参加・申込み要領】大会参加申し込みは大会当日まで受け付けます．Plant Biotechnology 誌 12 月号( Vol16 No5 )の綴込みの参加申し込み表に御記入の上お申し込み頂いても結構です．【申込連絡先】〒422-8526 静岡県静岡市谷田 52-1 静岡県立大学薬学部・生薬学教室内・日本植物細胞分子生物学会第 18 回静岡大会準備委員会事務局．

Tel: 054-264-5664, Fax: 054-264-5663, e-mail: noguchi@ys7.u-shizuoka-ken.ac.jp

### 第 5 回ムギ類分子生物学研究会および第 27 回コムギ遺伝学シンポジウム

分子遺伝学と古典遺伝学の融合を目指して

日時：2000 年 10 月 7 日(土)～ 9 日(月，体育の日)

会場：岐阜大学農学部

#### 第一部 第 5 回ムギ類分子生物学研究会

・シンポジウム「ムギ類染色体研究の最前線」 オーガナイザー：向井康比己(大阪教育大学) (7 日 13:00-18:00)，

・ムギ類分子生物学研究会ビジネスセッション，ミキサー(7 日 18:00～)

・若手研究者のポスター発表(8 日 9:00-11:00) < 発表募集中 >

第二部 合同シンポジウム 特別講演(8 日 11:00-

12:30)

・犬の性格遺伝子 岐阜大学農学部 新美陽子・村山美穂

・酵母と細菌からパンを作る 岐阜大学教育学部 長野宏子

第三部 第27回コムギ遺伝学シンポジウム

・シンポジウム(8日13:30-17:00)

<伝統的な遺伝/育種学研究のシンポジウムを企画・募集中>

・ビジネスセッション(8日17:00-17:15)

・懇親会(8日18:00~)

・一般講演(9日9:00-12:00)15分/課題

何かご質問,ご提案,ご意見は,下記の世話人まで連絡ください. 荻原保成 横浜市立大学木原生物学研究所 (Tel: 045-820-1903, Fax: 045-820-1901, e-mail: ogihara@yokohama-cu.ac.jp) 古田喜彦 岐阜大学農学部 (Tel & Fax: 058-293-2848, e-mail: furutay@cc.gifu-u.ac.jp)

### 東京大学大学院農学生命科学研究科 生圏システム学専攻設立記念シンポジウム

「自然の中で科学する 生圏システム学専攻へのいざない」

日時: 2000年7月6日(木)13:30~17:00

場所: 東京大学弥生講堂 東京都文京区弥生1-1-1, 地下鉄南北線東大前駅下車すぐ)

プログラム(総合司会: 吉田薫)

挨拶: 林良博(農学生命科学研究科長)他

趣旨説明: 井出雄二(専攻長)

基調講演: 樋口広芳「鳥の目から見た地球環境」, 鷲谷いづみ「里山の自然をどう捉えるか」, 日野明德「海の恵みを生かすには」

総合討論: 「自然の中で科学する 調査から保全まで」 武内和彦(司会), 宮下直, 恒川篤史, 石田健, 岡本研

問い合わせ先: 東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻長 井出雄二 (Tel: 03-5841-5490, e-mail: ide@uf.a.u-tokyo.ac.jp)

### The 7th World Congress of Genetics Applied to Livestock Production.

August 19-23, 2002, Le Corum Conference Centre of Montpellier, France. <http://wcgalp.toulouse.inra.fr> を参照してください.

### 日本育種学会会員異動

普通会員入会: 榎宏征, 神野裕信, 丹野久, 山口秀和(北海道), 小山田善三, 神田伸一郎, 神修平, 横山裕正(青森), 斎藤靖史, 吉田泰二(岩手), 新井正善, 善林薫(秋田), 松田成美(山形), Moez Torki, アンドレ シェルバン, 今泉(安楽)温子, 上田忠正, 高橋裕治, 戸田恭子, 中村まり, 野々上慈徳, 林英司, 矢崎潤史(茨城), 王丙旭(栃木), 斉藤涉, 田中淳(群馬), 稲村成浩, 内林久徳, 岡部芳幸, 海田和裕, 叶田真規子, 日下部祐介, 栗原道信, 児玉広志, 高木隆裕(東京), 安積良隆, 川崎博史, 長岐清孝, 福田正史, 宮本優美, 村上敦司(神奈川), 畑下昌範(福井), 宇次原清尚, 坂田勲, 長谷部健一, 吉田一昭(岐阜), 足立謙之(愛知), Bisht, Madho Singh(大阪), 杉本琢真(兵庫), 吉田元信(奈良), 米村善栄(鳥取), 山本義雄(広島), 洪徳林(香川), 片板宗毅(愛媛), 吉田恭史(徳島), 野方仁(福岡), 小松邦彦(熊本), Xiaochuan Liu, Tongxiang Lin(沖縄)

学生会員入会: 阿久津雅子, 長学, 鈴木祐一郎, 土田勝一, 松原一樹, 由井里香, 吉野道子(北海道), 中野将規, 三浦桂, 渡辺弘隆(青森), 伊東明子, 高橋大輔, 王楨(岩手), 安倍史高(宮城), De Leon, Jhon C., 伊藤喜美子, 竹久妃奈子(山形), Yongsak Kachonpadungkitti, 伊藤智彦, 日下雅之, 佐伯由美, 坂本知昭, 椎名由起, 松橋宏昌, 皆川博, 森口善成, 山村淳, Kachanpadungkitti, Yongsak(茨城), 高橋康恵(埼玉), 西岡美樹(千葉), 池田恭子, 小方伸吾, 納富一郎, 佐藤かんな, 杉田里佳, 辻寛之, 原田浩介(東京), 柴原直司, 花田俊男, 持田恵一(神奈川), 近藤博明(新潟), 河原友子, 目黒敦(福井), Avenido Renato A., 遠藤一太郎, 河合隆行, 飛奈宏幸, 三輪雅美, 山室千鶴子(愛知), 下野和彦, 芹澤尚美, 西田英隆(京都), 山田亨(大阪), 小杉隆之, 松浦敦子, 村井洋志(兵庫), 福井一徳, 森藤暁(奈良), 浅茅邦昭(和歌山), 伊藤裕之, 氷見英子(岡山), サンチェス・パウリ・ラウデ, 田懐東(福岡), 高木亜美子(鹿児島)

団体会員入会: 果樹試験場リンゴ支場 図書室(岩手), 日本飼料作物種子協会 西那須野支所(栃木), (株)江崎書店 外商部(静岡), 香川大学付属図書館 農学部分館, (株)宮脇書店 卸センター(香川), 愛媛大学付属図書館 農学部分館 情報サービス係(愛媛), 九州東海大学付属図書館 阿蘇図書館(熊本)

外国会員入会: Cho In-Sul, Chochoo Book Trading Co., Hankil Foreign Books Trading Corp, Kim, Jin-Young, Ko Jae Kwon, Korea Institute of Industrial, Lee, Seung-Mi, Yoon, Sang-Hyun, 張苡根(大韓民国), University of Chittagong (Bangladesh), Cho Youngkoo, Oriental Section The British Library (England), 76566943 Swets Subscription Service, Biblioteek Wageningen ur, Swets Subscription Service (Holland), Saad Mohd Said (Malaysia), Natl Chung Hsing Lib (U.S.A), Nguyen Ouy Can (Vietnam)

住所変更等

普通会員：青山聡，秋本正博，井上信久，奥野員敏，本田裕，村上紀夫(北海道)，野田尚信(青森)，扇良明(岩手)，岸谷幸枝，高橋成人(宮城)，加藤浩，三吉一光(秋田)，阿部和幸，高品善(山形)，安西弘行，稲垣伸行，大山暁男，加賀秋人，片山健二，川端習太郎，葛谷真輝，藏之内利和，中林司，西口正通，日高哲志，宮原研三，村田和優(茨城)，加藤紀夫，高振生，田島智之(栃木)，近藤浩一，戸倉一泰(埼玉)，中村靖弘，横関祐美(千葉)，雨木若慶，岡部四郎，柏原洋司，北浦健生，小巻克巳，南晴文，吉田薫(東京)，阿部浩人，池橋宏，魚住武司，岡憲明(神奈川)，永島秀樹(石川)，篠山治恵，畑下昌範(福井)，倉根剛志，高橋信夫(長野)，杉本和宏(岐阜)，石田祐二，宇佐美悟，久保友明，小鞠敏彦，小森俊之，中木戸文夫，新田直人，樋江井祐弘，松倉千昭，丸田嘉幸，山本敏央(静岡)，服部一三，藤井潔(愛知)，池谷祐幸(三重)，福岡忠彦，吉岡麻理(退職)，渡辺斎(京都)，

足立泰二(大阪)，村山英樹(山口)，今林惣一郎，関昌子(旧：大西)，八田浩一，平島敬太(福岡)，松井勝弘(熊本)，森谷國男(退職)(鹿児島)，住秀和(沖縄)

学生会員：浅野敬幸(千葉)，山中雅照(神奈川)，荒木悦子(愛知)，大迫敬毅(京都)，笠原竜四郎(兵庫)

団体会員：東京農工大学付属図書館 小金井分館 情報システム係(2)(東京)，高知県農業技術センター果樹試験場(高知)

名称変更

団体会員：埼玉県農林総合研究センター 園芸支所(旧：埼玉県園芸試験場)(埼玉)，東京農工大学付属図書館 小金井分館 情報システム係(2)(東京)，(株)オリノバ(旧：日本たばこ産業(株))(静岡)，高知県農業技術センター果樹試験場(高知)

外国会員：Biblioteek Wageningen Ur( Holland )

訂正とお詫び

育種学研究編集事務局

育種学研究第2巻第1号に掲載しました「ビール大麦における凸腹粒発生の気象要因と発生時期」の引用文献を事務局の不注意により誤って掲載してしまいました。下記のとおり訂正するとともに、著者の方々にお詫び申し上げます。

記

誤

福田 敬・古田智彦(1989)ビール大麦における側面裂皮粒発生に及ぼす環境条件の影響。日作紀 58: 507-512.  
浜地勇次・古庄雅彦・吉田智彦(1989)最近のビール大麦における品質低下の実態・原因・対策。農及園 64: 395-402.

正

浜地勇次・古庄雅彦・吉田智彦(1989)ビール大麦における側面裂皮粒発生に及ぼす環境条件の影響。日作紀 58: 507-512  
浜地勇次・吉田智彦(1989)最近のビール大麦における品質低下の実態・原因・対策。農及園 64: 395-402.